

第33回 区民会議交流会

テーマ：「区民会議がめざす協働による地域活動」

日時：平成19年11月26日（月）午後3時～5時
会場：関内ホール 小ホール

プログラム

第1部 事例発表（午後3時00分～4時05分）

- 1 中区民協議会 中区民協議会副代表・環境分科会
「話し合い」から「行動」する分科会活動へ！
手始めに“街区公園めぐり”でスタート
- 2 旭区民会議 地域コミュニティ分科会委員長
3世代交流でまちづくり ～今宿コミュニティガーデンの誕生～
- 3 緑区民会議 安全・安心まちづくり部会長
～防災・防犯力の向上を目指して～ 緑防災・防犯レポート

（発表者との意見交換）

<休憩>

第2部 市長講演（午後4時20分～5時）

「これからの地域自治のあり方」について 横浜市長

（講演に関する質疑応答）

区民会議交流会の開催にあたって

日頃から、区民会議の運営・活動につきまして、ご尽力をいただきありがとうございます。
ます。

今回の交流会が、今後の区民会議の参考になり、また、他の区民会議との交流を一層
深めていただく場となればと考えております。

実り多い交流会となりますよう、皆さんの積極的な参画をお願いします。

平成19年度区民会議代表委員連絡会
第33回区民会議交流会実行委員会

意見交換、質疑応答の際のお願い

<第1部 事例発表後の意見交換>

発表者へのご質問やご感想などをお受けします。発表テーマに関連する自由意見やご自分の区の
取組紹介など、活発な情報交流をしていただき、今後の活動にお役立てください。

<第2部 市長講演後の質疑応答>

市長講演を聞いてのご感想、講演内容に関するご質問などをお受けします。

<共通の注意事項>

- ・ご質問、ご意見がある場合は、挙手のうえ、司会者の指名を受けてからご発言ください。
- ・発言の際は、はじめに「区民会議名」と「お名前」をおっしゃってください。
- ・より多くの方からご発言をいただけるよう、発言時間は、お一人2分以内でお願いします。

※ 別紙、「参加者アンケート」に御協力をお願いします。お帰りの際に、受付の回収箱へお入れくだ
さい。

「話し合い」から「行動」する分科会活動へ！ 手始めに“街区公園めぐり”でスタート

1. 全体概要

(1) 行動重視のきっかけと「街区公園めぐり」を選んだ理由

★きっかけ：達成感が得られない話し合い運営への不満の声

➡ **共に行動すれば、テーマの共有・共感ができるとの期待の声**

★ 行動対象に「街区公園」を選んだ理由

- ・ 緑被率が低い中区の“緑”に対する会員の問題意識（市平均 31%→中区 15%）
- ・ “緑”が比較的多い公園、中でも市民に身近な街区公園を調査することに決定

(2) 「街区公園めぐり」実施内容

★ 活動期間：平成 16 年 9 月～平成 17 年 6 月

★ 公園の数：63 箇所

★ 参加人数：環境分科会会員 20 名



公園めぐり風景



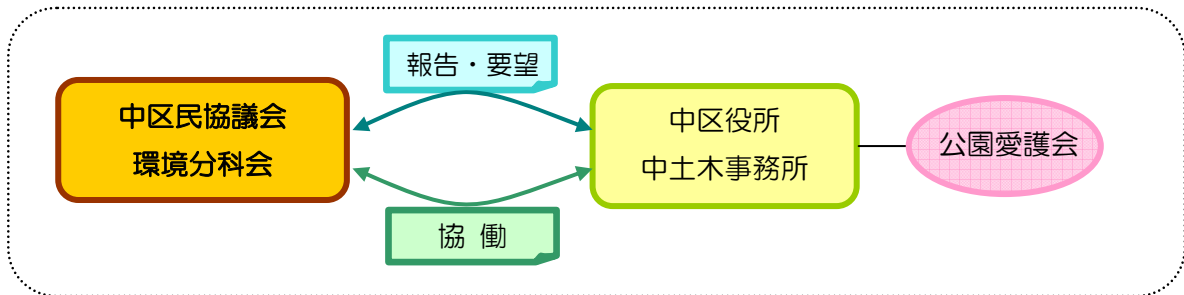
公園めぐり会員参加者

(3) 活動記録：冊子の編集（ホームページアドレス：<http://kmkoen.web.infoseek.co.jp/>）

★ 作業期間：平成 17 年 10 月～18 年 8 月 各月の第 3 土曜日



(4) 行政（中土木事務所他）への報告と話し合い



- 当局関係者と会員全員で2回話し合いを実施
- 冊子に対する当局の反応は良好
- 冊子に記載したコメントは公園整備の参考にするとの見解
- 今後の協働テーマとして、区役所ホームページに街区公園広報掲載の検討



話し合いの準備打合せ

2. その後の展開状況

- (1) 中区ホームページに「街区公園」掲載についての協働作業方式の検討
「協働」のスタイルとして、区役所と当会の2者間で分担する形を提案
- (2) 行動する分科会活動の第2弾として現在「環境マップづくり」活動を推進中
 - ・ 第1弾の「街区公園めぐり」の目途が付いたことを踏まえ、「市民に最も身近な生活環境」に視点を置き、市街地めぐりを推進
 - ・ 中区ロータリークラブ主催の、街区公園の一つである「扇町公園」での植樹活動に呼応し参加



扇町公園（植樹活動風景）



宮脇先生の指導

3. 今後の課題

現在、「街区公園めぐり」で積み残した課題の検討継続、第2弾の「環境マップづくり」活動記録の編集、第3弾行動テーマの検討に取り組んでいるところであり、行動する分科会活動の整備・充実を図る所存

3世代交流でまちづくり

〈今宿コミュニティガーデンの誕生〉

1 全体概要

区民会議の積み重ねと人脈が旭区まちづくりマスタープランと合流して、地域住民の緑の交流の場〈今宿コミュニティガーデン〉を生み、新しい輪が広がり、今更に「ヨコハマ市民まち普請事業」へと展開しはじめています。

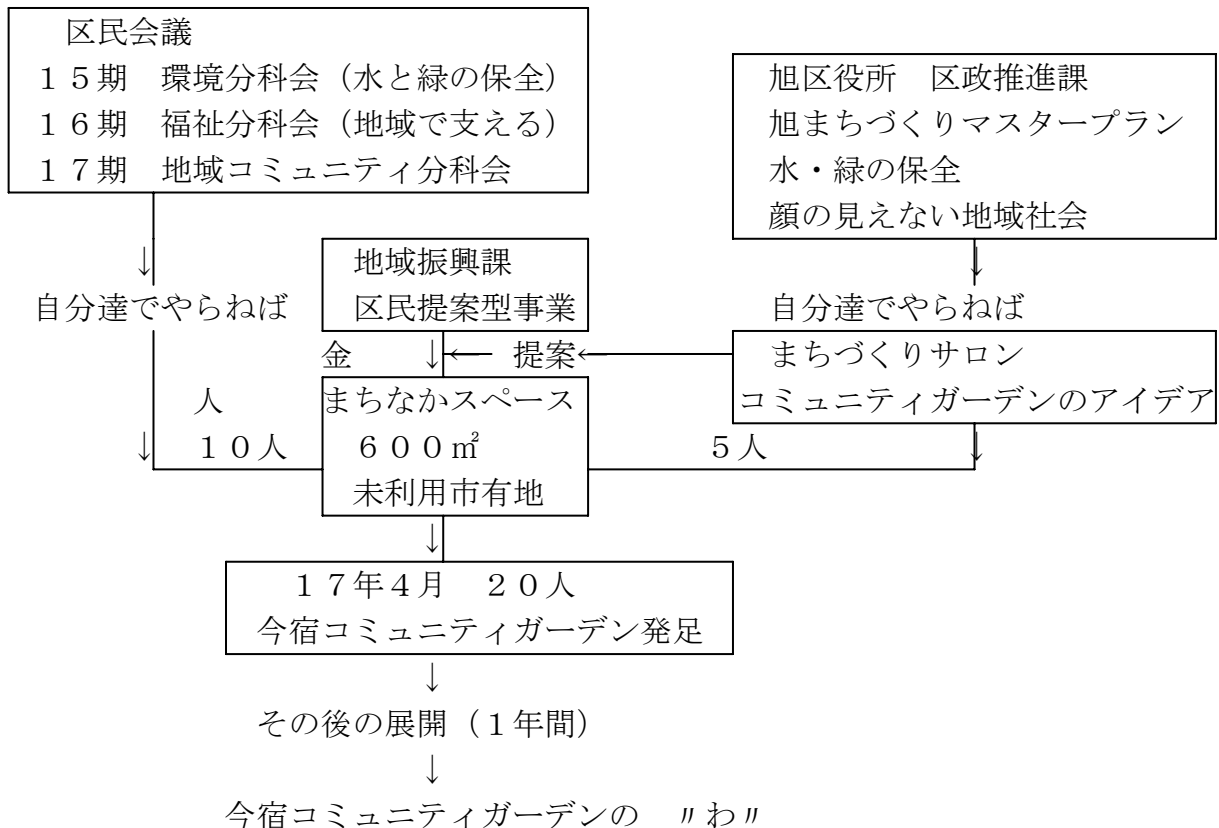
2 きっかけ

第15期・第16期・第17期の区民会議の問題意識と、旭区まちづくりマスタープランの問題意識が一致、それは「議論はもうたくさん、自分たちで実際何かやってみよう」。

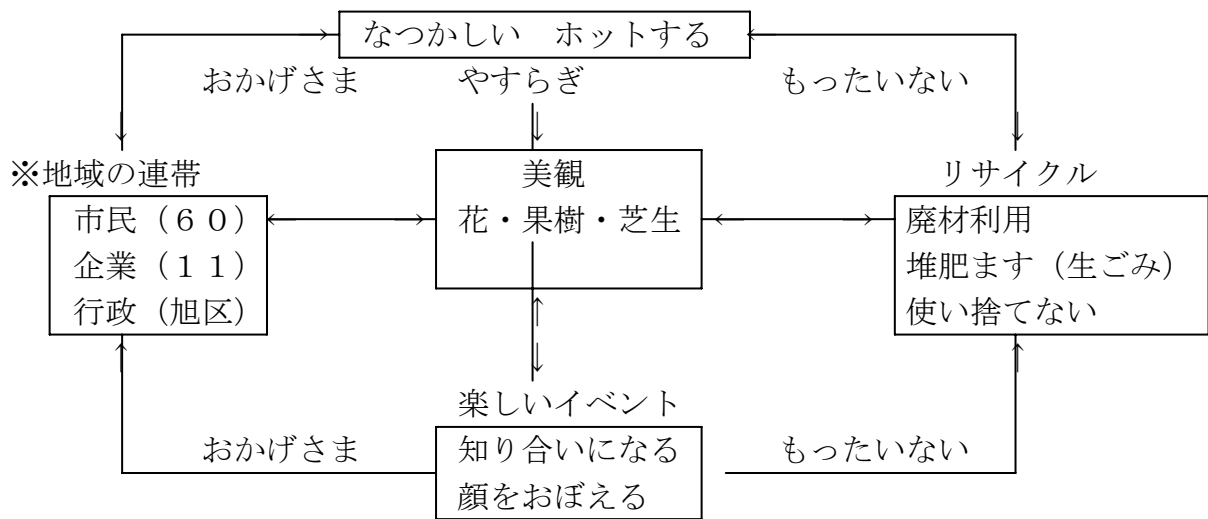
そこへ「コミュニティガーデン」というアイデアが「まちなかスペース活用事業〈市有地 600㎡〉」と「旭区民提案型事業（助成金対応）」を触媒に、人・もの・金が揃い平成17年4月〈今宿コミュニティガーデン〉が誕生したのです。

3 区民会議が担った役割

- (1) これまで ⇨ 問題意識の醸成と人脈 ← 誕生
- (2) これから ⇨ 第二・第三のコミュニティガーデンのPR ← 拡大



4 協働した内容〈今宿コミュニティガーデンの “わ”〉



※地域の連帯

- 市民 イベント参加者 1000人超 (外国人も) 子供会のワークショップ
- NPO 楽竹会 (瀬谷区) 今宿コミュニティガーデン友の会会員
- 企業 賛助会員 近隣11店・社
- 行政 旭区役所・旭土木事務所・旭環境事業所
今宿地区センター・今宿地域ケアプラザ

5 今後の展開 (更なる挑戦)

(1) 区民会議 コミュニティガーデンのPR活動
旭市民フォーラム・旭区民会議・区民会議交流会

(2) 今宿コミュニティガーデンの “わ” の拡大

ヨコハマ市民まち普請事業コンテスト応募	一次通過	
	二次審査	20年1月予定

↓

出場の目標 「一区に一つの コミュニティガーデン」

(参考) 今宿コミュニティガーデン友の会 ホームページ <http://imacom.org/>



〈今宿コミュニティガーデン〉

旭区今宿2-20

保土ヶ谷バイパス下川井インターそば

～ 防災・防犯力の向上を目指して ～

< 緑防災・防犯レポート >

安全安心に関する地域の身近な情報を、パソコン及び携帯メールを介して直接区民の皆さんに迅速に伝えるものです。

1 全体概要

内容	情報をパソコン・携帯電話にメール配信
発信開始	平成17年12月～
配信頻度	週1回、毎週月曜日
購読会員	平成19年9月現在 約1,000人
購読料	無料（受信料は購読者負担）
情報発信	情報配信業者に依頼（経費は無料）
その他発信	大容量の情報公開のためホームページ・ブログを設定
購読者への対応	問い合わせなどのためメールシステムを設定（双方向性）
経過	平成19年9月末日現在93号配信（その他緊急臨時4回）



2 立上げの経緯

- ・ 市民意識調査による最大関心ごとが「防犯」である。
- ・ 防犯に関する身近な情報をリアルタイムで提供すれば、地域の防犯力の向上に効果的である。
- ・ 区民会議活動として相応しい協働事業である。

3 緑防災・防犯レポートのめざすもの

(1) 個人及び地域の防犯力の向上

「自分は何をなすべきか」「地域ではどのような取組みが必要なのか」など

(2) 隣近所の防災防犯力の向上

「向こう三軒両隣」的な近隣の連帯感に結びつけば、減災や防犯の大きな力に・・・

(3) 緑区の防災防犯力の向上

行政や地域活動団体などが、力強い連携のもとに行動するための、情報の共有化に・・・



